

高等教育活性化シリーズ 216 (通算 533 回)

2012 年 6 月 25 日 (月)

“AIJ 投資顧問” 事件の教訓——

学校法人資産運用の業務検証と再構築

～コンサルタント・運用専門家からの助言と対策～

- ※ 運用担当者の資質/危険な投資商品/経験能力不足による失敗パターン/再確認と再構築
- ※ ロスカット・ルール/取得基準/運用モニター/債券以外の資産/適正な収入水準の目安
- ※ [対論] もしも私が学校資産運用担当だったらどうするか

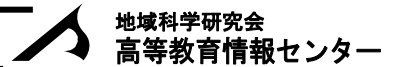
● 講師陣 ●

梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー (株) 代表取締役
 法人資金運用・管理コンサルタント、非営利法人資金運用研究会事務局長

竹子 立弥 氏 / MFS インベストメント・マネジメント (株) 日本法人 ディレクター
 (財) 公益法人協会 公益法人資産運用研究会委員

■ 企画協力 ■ 非営利法人資金運用研究会

2012 年 6 月 25 日 (月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日時: 2012 年 6 月 25 日 (月) 10:00~16:30
 会場: 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362
 アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 49,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 50,000 円 (送料、消費税込)
 C. 非営利法人資金運用研究会員: 25,000 円
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合
 が悪いときには代理の方がご出席ください。
 ☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 216 2012 年 月 日

学校法人資産運用の業務検証と再構築

当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 [□請求書 □見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

“A I J投資顧問の問題を受けて、厚生労働省が厚生年金基金の運用体制を調査した結果、『資金運用に携わる役職員』のうち90%近くが『それまでに経験がないまま運用を担当していた』ことが明らかになりました。”(出所:3月28日付NHKニュース)

考えてみれば、殆どの学校法人の運用体制の実態も同様である。「学校法人の資産運用と年金運用とは違う」、「主として安全な債券での自家運用を行っている本校には関係が無い」などと安易に片付けるのは危険である。

例えば、債券での自家運用ひとつとっても、仕組債、東電債、ノルウェー輸出金融公庫債などの取得判断やその後の管理方法など、学校法人資産運用にとって今後の教訓とすべき事例は少なくない。果たして、外部の専門家の目にはどのように映っているのであろうか。もしも彼らが学校の運用管理者の立場だとしたら、どこに着眼し、どのような対策を講じようとするだろうか。また、その理由はなんであろうか。

本セミナーでは、“A I J”事件から学校法人資産運用の現状にも垣間見ることのできる深層課題とその対応策についてのお二人の専門家から提言をいただく。学校法人資産運用における更なる業務能力の研鑽や運用体制改善のヒントとして活用いただければ幸いである。

時間	講義項目
10:00 }	I. 資産運用での経験能力不問はNG インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 1. なぜか? 2. 危険に思えるいくつかの事例 (1) 債券投資 (2) 仕組債投資 (3) 外債、株式、為替、その他投資 (4) 投資信託投資 3. 経験能力不足による典型的な失敗パターンとは? (質疑応答)
11:00	
11:10 }	II. 資産運用の再構築プラン インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 1. ロスカット判断が出来るか否かで決まる運用内容 2. 債券のロスカット・ルールと留意点について 3. 債券の取得基準について 4. 債券運用のモニターについて 5. 債券以外の資産(外債、株式、それらを対象とする投資信託など)の取得基準について 6. 適正な収入水準の目安について 7. 危機を想定した今後の債券運用について 8. 仕組債、東電債、ノルウェー輸出金融公庫債などの取扱について (質疑応答)
13:00	
14:00 }	III. 運用管理業務の再確認と再構築 MFS インベストメント・マネジメント 竹子 立弥 1. 運用管理者という立場 2. 運用管理業務の再構築の方向性 (質疑応答)
15:00	
15:10 }	IV. [対論] もしも私が学校資産運用担当だったらどうするか インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一 MFS インベストメント・マネジメント 竹子 立弥 1. 日本国債のリスクをどのように考えるか? 2. 債券の取得基準やロスカット判断はどうするか? 3. 外債や株式などは必要か? 取得する場合、基準はどうする? (質疑応答)
16:30	

竹子立弥(たけし たつや)氏のプロフィール

1957年栃木県生まれ。早稲田大学政経学部卒。日本長期信用銀行にて為替ディーラー・ファンドマネージャーを担当、その後LPL日本証券のチーフストラテジストを経て、現在MFSインベストメント・マネジメント日本法人のディレクター。日本証券アナリスト協会検定会員。